

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習		
開講年度	2020年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	竹田 幸夫 (タケダ ユキオ)		
副担当教員氏名(カナ)	岩本 哲也 (イワモト テツヤ) 久木 直哉 (キユウキ ナオヤ) 平田 大輔 (ヒラタ ダイスケ) 深井 正樹 (フカイ マサキ) 山口 良博 (ヤマグチ ヨシヒロ)		

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (卓球)		
開講年度	2020年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	岩本 哲也 (イワモト テツヤ)		

授業概要	この授業は、卓球の基本技術を学習した後、シングルス、そしてダブルスの順にゲームを展開する。		
到達目標(ねらい)	上記の過程で卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築いてもらうことを目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容と服装等の説明	
	第2回	ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形	
	第3回	フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム	
	第4回	フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方、シングルスゲーム	
	第5回	バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム	
	第6回	カットの打ち方、返球の方法、カット&カット、シングルスゲーム	
	第7回	カット&ドライブリターン、シングルスゲーム	
	第8回	スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム	
	第9回	シングルスゲーム(リーグ戦)	
	第10回	シングルスゲーム(リーグ戦)	
	第11回	ダブルスゲームの行い方、ダブルスゲームの練習	
	第12回	ダブルスゲーム (リーグ戦)	
	第13回	ダブルスゲーム(リーグ戦)	
	第14回	スキルテスト	
	第15回	まとめ	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	服装は、一般的な運動服とするが、必ず室内シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は、授業を受けることは出来ない。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	総合評価(積極性・協調性・授業態度など)	
	評価は、平常点80%、実技点20%とする。実技点は実技テストにて判定する。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	新規開講授業のため、前年度の実績なし。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)		
開講年度	2020年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	久木 直哉 (キウキ ナオヤ)		

授業概要	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。		
到達目標(ねらい)	健康体操については、ストレッチ体操を实践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	健康体操とストレッチ体操	
	第3回	健康体操とストレッチ体操	
	第4回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第5回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第6回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第7回	男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第8回	男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第9回	男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン	
	第10回	鉄棒、トランポリン	
	第11回	発展技の練習、自主練習	
	第12回	発展技の練習、自主練習	
	第13回	発展技の練習、自主練習	
	第14回	発展技の練習、自主練習	
	第15回	まとめと評価	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	総合評価	
	男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	個々に目標技を設定し練習を行い、技が出来た時の達成感を味わう。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (ゴルフ)		
開講年度	2020年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	竹田 幸夫 (タケダ ユキオ)		

授業概要	本授業では、ゴルフの基本技術の実技を通じてゴルフというスポーツの楽しみ方を学習するとともに基礎理論の理解を深めていく。毎回、異なった課題をこなしていくので、休まずに受講してほしい。		
到達目標(ねらい)	大学生の年代は、将来のスポーツライフの基礎をつくる時期である。ゴルフは、世代や性別を問わずに多くの人々に親しまれている生涯スポーツの一つである。授業においては、ゴルフに関する基礎知識や技術、マナーなどを理解し、基本技術の実技を通して、ゴルフを生涯楽しむことのできるための基礎を築くことをねらいとする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	ゴルフの基本(グリップ・スタンス・アドレス・スイング)	
	第3回	打撃練習(ピッチングウェッジ・9番アイアン)	
	第4回	打撃練習(ピッチングウェッジ・9番アイアン)	
	第5回	打撃練習(7番アイアン)	
	第6回	打撃練習(7番アイアン)	
	第7回	打撃練習(9番アイアン・7番アイアン・1ウッド)	
	第8回	打撃練習(9番アイアン・7番アイアン・1ウッド)	
	第9回	パッティング(クラブの解説)	
	第10回	打撃練習(アプローチショット)	
	第11回	パッティング(コースの解説)	
	第12回	打撃練習(アプローチショット)	
	第13回	模擬コースのラウンドプレー(マナー・エチケットの解説)	
	第14回	模擬コースのラウンドプレー(マナー・エチケットの解説)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	テレビ等で放映されるゴルフの試合を観戦し、技術やマナーを学習してほしい。		
履修上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ○服装は、運動に適したスポーツウェア、シューズとする。 ○ゴルフ用グローブを各自用意すること。 ○雨天及び強風時には、教場を変更することがあるので、掲示板を確認すること。 		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技点	
授業に出席して毎回実技を実践することが重要であり、成績評価のうち平常点を70%とする。実技については、技術習得度、積極性、受講態度等を総合的に評価(30%)する。			
教科書/テキスト	とくになし		
参考書	とくになし		
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	前年度「学生による授業アンケート」における授業に関する設問については、各項目とも高評価でした。ゴルフというスポーツは、技術習得に時間を要する種目なので、学習効果が上がるように授業展開を工夫していくつもりです。i-Padを利用して自身のスイングフォームをチェックしながらの練習を行い、学習効果を上げたいと考えています。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (テニス)		
開講年度	2020年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	平田 大輔 (ヒラタ ダイスケ)		

授業概要	生涯スポーツとして多くの人がプレーを楽しんでいるテニスを通して体力の維持・増進を目指す。そのためテニスの基本技術を習得し、面白さやコミュニケーションを経験し、生涯スポーツとして楽しめるような技術を身につけられるようにする。		
到達目標(ねらい)	テニスのグランドストローク、ボレー、サーブといった技術だけに留まらず、マナー、ルールを学び、コミュニケーション力を身につけられるようにする。また、今後の学生生活が有意義になるような仲間作りが出来ることを目指す。経験者は、いままでの技術をさらに向上させ、試合に活かせるようになってもらう。さらに未経験者に対してアドバイスができるようにもなってほしい。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	ラケットワーク、ラケット・ボールに慣れる	
	第3回	ストロークの基本技術Ⅰ	
	第4回	ストロークの基本技術Ⅱ	
	第5回	ボレーの基本技術	
	第6回	スマッシュ、サーブの基本技術	
	第7回	応用技術Ⅰ(試合で使える技術をマスター)	
	第8回	応用技術Ⅱ	
	第9回	シングルスゲーム	
	第10回	ダブルスのルール戦術	
	第11回	ダブルスゲームⅠ	
	第12回	ダブルスゲームⅡ	
	第13回	団体戦Ⅰ(シングルス、ダブルス)	
	第14回	団体戦Ⅱ(シングルス、ダブルス)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	体育実技なので、体調をしっかり整えて、授業を受講出来るようにすること。		
履修上の留意点	<p>① 履修者の技術レベルは問わない ② 服装は運動着とする。できればテニスシューズを準備すること。 ③ ラケットは貸与する。</p> <p>雨天の場合は、テニスに関する知識を深めるため、映像などを使用して講義を行う。もしくは、テニスに関連する種目や必要なトレーニングを体育館などで行う予定である。</p>		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	出席	
	平常点(授業参加態度、運動参加状況)技術習熟度などから総合的に評価する。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	昨年度の学生による授業アンケートの結果において、「この授業の進み方はあなたにとって適切ですか。」という設問の本講義の平均が全体の平均を下回っていたので、本年度は「学生に合わせた授業の進み方を考える」ような授業展開に努めます。		
関連リンク			

実務経験がある教員による授業科目

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習（屋外球技）		
開講年度	2020年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	深井 正樹 (フカイ マサキ)		

授業概要	球技スポーツを教材とし、各種目の基礎技術やルールを学び、各種目の理解を深める。		
到達目標(ねらい)	各球技を通じて、仲間とのコミュニケーションを図りながら、ルールやマナーといった楽しさを理解すると共に、健康・体力の増進を目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明	
	第2回	サッカー:ルールの説明、基礎技術、ゲーム	
	第3回	サッカー:基礎技術の応用、ゲーム	
	第4回	サッカー:ゲームの進め方、ゲーム	
	第5回	サッカー:ゲームの攻め方、守り方、ゲーム	
	第6回	サッカー:ゲーム(リーグ戦1)	
	第7回	サッカー:ゲーム(リーグ戦2)	
	第8回	サッカー:ゲーム(リーグ戦3)	
	第9回	ソフトボール:ルールの説明:キャッチボール、ゴロの捕球、フライ	
	第10回	ソフトボール:ティーバッティング、キャッチボール、ゲーム(ティーバッティング)	
	第11回	ソフトボール:総合練習、ゲーム	
	第12回	ソフトボール:総合練習、ゲーム	
	第13回	ソフトボール:ゲーム(リーグ戦1)	
	第14回	ソフトボール:ゲーム(リーグ戦2)	
	第15回	ソフトボール:ゲーム(リーグ戦3)	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	一般的な運動服を着用すること。運動靴または、固定式スパイクを着用すること(取り替え式スパイクは不可)。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技	
	出席、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価する。講義内容については前後したり、変更することもある。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	前年度アンケートにおいて総合的に良い評価を得ているが、より学生が興味を持ち、積極的に授業に参加できるよう心がける。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			

履修コード/科目名称	195811 / 健康・スポーツ実習 (室内球技)		
開講年度	2020年	開講曜日・時限	金・1
担当教員氏名(カナ)	山口 良博 (ヤマグチ ヨシヒロ)		

授業概要	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールについて学ぶ。		
到達目標(ねらい)	各種目での技術上達はもとより、ゲーム等をとおして協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明	
	第2回	バドミントン:基礎練習(ハイクリア、サービス)	
	第3回	バドミントン:基礎練習(ドライブ)、ゲーム	
	第4回	バドミントン:基礎練習(ヘアピン)、ゲーム	
	第5回	バドミントン:応用練習、リーグ戦	
	第6回	バレーボール:基礎練習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)	
	第7回	バレーボール:基礎練習(サーブ)、ゲーム	
	第8回	バレーボール:基礎練習(スパイク)、ゲーム	
	第9回	バレーボール:応用練習、リーグ戦	
	第10回	バスケットボール:基礎練習(パス、シュート)	
	第11回	バスケットボール:基礎練習(ドリブル)、ゲーム	
	第12回	バスケットボール:基礎練習(1on1)、ゲーム	
	第13回	バスケットボール:応用練習、リーグ戦	
	第14回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)	
	第15回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)	
準備学習	各種目における基本的なルールを学習しておくこと。		
履修上の留意点等	スポーツウェア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	総合評価(積極性・協調性・授業態度など)	
授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。			
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	新規担当科目のため昨年度アンケート未実施科目です。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目			